

0812

號

右

第



關



銃砲課

主務局長	決裁	大臣	受番	件名
大官房	主務局長	次官	領	號
了結	參事官	高級副官	明詔四十五年	土地還付
明治	主務課長	主務副官	第四四三號	件
明治	主務課員	主計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市
明治	審察	計	明治	東京市

明治四十五年
土地還付
第四四三號
東京市



當有弓り左記、者へ通牒案

(陸吾)

東京市芝区櫻田本郷町四番地

吉田彌一郎

東京府荏原郡日黒村大字三田

字大丸耕地二百五十六番地

小澤忠右衛門

左記土地、明治三十五年三月二十日土地
收用法、依り輕便軌道敷地ニ收用、處今
回不用ニ歸し、内務省へ還付素条及通牒候
也

十月十三日

追々本書領收、上へ受領書差出有之度

候

左記

東京府荏原郡目黒村大字三田字大丸耕地

八拾四畝，四

一面積五拾壹坪

同所八拾五畝，三

一面積七拾六坪

同所九拾九畝，二

一面積百四拾坪

右記は左記一部に在り

同所百六拾七畝，三

三

三

一 面積 卷拾八坪
同所 百六拾八番、三
面積 五拾壹坪

(右小澤忠右衛門、左記トス)

内務大臣、御照會案

(陸 晋)

別紙 圖面 並 調書記載、土地ハ 將來 當有ニ
於 存置、必要 無之ニ 付此、際 還付 素奈
明治 四十年 五月 送甲 第九六八 號 照會ニ 係
ル 不用 賣却 地中、追加 方取 計相 成度 候也
追 収用 地ニ 関シテハ 元所 有者、不用
歸シタスル 旨 通知 済ニ 付 申添 候

十一月

次官大藏次官通牒案

(陸普)

當省所管ニ係ル別紙課書、土地ニ練兵場
射擊場及工兵作業場新增設費、財源ニ充
當、為今回内務省ニ還付致候条及通牒候
也

十月十三日

副官東京市長通牒案

(陸普)

明治四十五年四月十一日附子庶地第六六
號以下郡部線軌道布設、為當省用地使
用方出願、件右、今回用地整理、結果該
地該接續地ニ内務省ニ還付也ニ付別紙
及返戻候也

十月十三日

六二

覽

追々明治四十二年五月東京鐵道株式會社庶甲第一九一號提出、願書。同年六月返却済。有之候間申添候。

東京砲兵工廠御達案 (陸普)

其、廠管理ニ係ル目黒火藥製造所元輕便軌道敷地、内圖面表示、地区ハ將來必要無之ニ付別紙願書、通内務省ハ還付案条其、筋ハ引渡方取計フヘシ但シ本地内ニ於ケル地役權ニ関シテハ引渡、際通牒スヘシ

陸軍省 陸普第一四一號 十二月十三日



8180

閣

房官臣大 課局務中		大臣		件番受
丁結領受出提領受 裝番		次官		名 號領
明治 年	明治 年	事務局長		土地還附 三號
一月六日	八月二十日	事務課長		
長局帶聯		參事官		吉田 一 郎
長課帶聯		高級副官		
事務局長		主務副官		新
事務課長		主計		
事務職員		主務副官		新
事務職員		主計		
事務職員		主務副官		新
事務職員		主計		

加十
字
除二
字

當省ヨリ吉田縣一部へ通牒案一陸普
 陸普第一四二號収用土地還付方通牒
 関シ稟伺、件右大丸耕地八十四番ノ面
 積五十六坪ノ内別紙圖面ニ示ス部分五坪
 ハ明治四十五年五月續道院ハ管理換セシ
 以テ之ヲ控除ス其ノ他ノ面積四十四
 坪ニ對シテハ當省ニ於テ存置ノ必要アルモノニ付承
 知相成度候也

四六

陸 普



八

受領書

大正元年十二月十三日付

陸奥第一四二番

土地還付件付通牒書

土地

但

東春在厚郡目黒村大字三田下大九耕地

八拾四畝

面積 五拾五畝

面積 五畝三

面積 七拾六畝

陸奥第一四二番
領書
第一四二番
陸奥第一四二番
陸奥第一四二番

全所九ヶ所
面積 百畝坪

面積 百畝坪

万土地昭三十五年三月二十日土地収用法依了輕便軌道敷地、
未収用段序之迄今般法南端、内務省、遷在之証、法自體
般設書正領收也

追々當時未収用般之土地、前書法自體外、尚左記二年
有之、且右法自體中、初年、於田畠、面積、左記、通成、左
有之、右、各法、名用、場、部、人、部、人、部、果、又、未、自、體、成、
左、成、一、應、在、面、積、也



左記

余所見各書

面積 拾九坪

余所見各書

面積 拾五坪

外前書張通牒中初筆余所見置四六張用當時之面積
五於左坪之張通牒對上坪減差有之有張名用坪多
場合該分表之却合重書張通牒似後多

大正九年十二月十五日

陸軍大臣官房
御中

元東喜帝生息櫻田本御所置地
現佳所存御大侍所大守上太倉三百石置地

吉田弥一印



四十五号

地籍簿第四回乙号

多田

東京府荏原郡目里村三田字大丸耕地
百六十七番ノ三

一面積 三十八坪

同所百六十八番ノ三

一面積 五十三坪

變換

右、土地、明治三十五年三月二十日

土地收用法ニ依リ御省へ御收用ノ

処今回御不用ニ歸シ還付度條

此段有リ難ク拜受仕度也

0824

大正元年十二月二十日

東京府荏原郡目黒村大字三田
字大丸耕地二百五十六番地

小澤忠右衛門

陸軍大臣官房

御中

0826



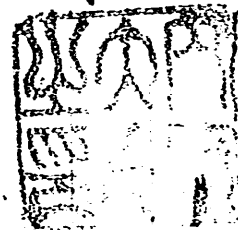
内務省 第三三八號

大正十二年十二月五日

十二月廿六日

大浦内務大臣

木越陸軍大臣殿



本月十三日陸普第一二二號ヲ以テ貴
省不用地賣却ノ件照會ノ趣了
第本日其旨取計賣比波及同答候
也

内務省

會發第三五三號

輕便軌道を地必要ノ者を照會シ付ルに回答

大正九年十月五日

東京砲兵工廠會社

陸軍省經理局建築課長

電話ニテ照會ノ際ニ中野廠目録空業製造所ヨリ白金
火藥庫ニ至ルニ輕便軌道ヲ知ルニ用ニ付之ヲ修ス
將來ノ必要ヲ顧慮シ山手線錢道線沿端切近存
置シ殘部ハ自然ニ必要ニ付置付ノ手續既ハ修了
付右概々申去相成度申付調書及圖面相添ヘ
及回答也



陸軍

								目録	町村
								三田	大字
								耕地	字
一 九 三 二	一 六 八 二	一 七 七 三	一 七 三 二	一 五 七 三	一 五 二 三	八 五 三 三	八 四 二 四	九 九 二	地番
二 五 〇 〇	五 〇 〇 〇	三 八 〇 〇	五 〇 〇 〇	八 三 〇 〇	一 九 〇 〇	七 六 〇 〇	五 六 〇 〇	一 四 〇 〇	地積
八 〇 〇 〇	一 七 三 〇 〇	一 九 二 〇 〇	一 七 〇 〇 〇	二 四 九 〇 〇	五 四 五 〇 〇	二 五 八 〇 〇	一 九 〇 〇 〇	四 七 六 〇 〇	収用價格
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	昭 和 五 年 三 月 廿 四	収用年月日
吉田 彌一郎	〃	水沢 忠右衛門	田中 銀次郎	水沢 忠右衛門	〃	〃	〃	吉田 彌一郎	旧所有者氏名
	✓	✓						✓	
								✓	
								✓	

備考

今由番ノ四五六坪ノ内五坪ノ現在鐵道醫院使用地ナリ

〃
〃
一畝
九四〇〇
三九六〇
〃
田丸権七